記者発表資料

平成２６年　４月１１日
国　土　交　通　省
南 三 陸 国 道 事 務 所

# 三陸沿岸道路（釜石山田道路）大槌第２トンネルの岩砕（トンネルズリ）の調査結果と今後の対応について

○国土交通省南三陸国道事務所では、現在、三陸沿岸道路（釜石山田道路）大槌第２トンネルの掘削工事を施工しています。

○掘削工事で発生した岩砕（トンネルズリ）は、大槌町が計画している震災復興土地区画整理事業に対して嵩上げ土として提供する予定で、一部を旧大槌病院跡地(大槌町大槌第13地割)に仮置きしています。

○大槌町からの連絡を受け、南三陸国道事務所において、トンネル切羽部の検体で溶出試験を行ったところ、「ヒ素」の存在が確認されました。このヒ素は、自然由来であり、土壌ではなく岩石中に存在することから土壌汚染対策法の基準値は適用されませんが、仮に適用した場合は６検体のうち２検体が超過となります。

○当面の対策として4月5日からトンネルの掘削工事を中止するとともに、仮置きしている岩砕については4月10日までにブルーシートによる被覆を完了しています。

○南三陸国道事務所では、今後、学識者等から構成する検討委員会を設置し、今後の対策について適切に対応してまいります。

１．調査について

大槌町の計画している震災復興土地区画整理事業に対して大槌第２トンネルの岩砕（トンネルズリ）の提供を予定していますが、トンネル切羽（掘削面）部分で採取した岩砕（トンネルズリ）について、土壌汚染対策関係法令に規定されている調査方法を準用して分析した結果、調査した11項目のうち、「ヒ素」が以下のとおり検出されました。

**大槌第２トンネルでの調査結果**

| 項　目 | 検体抽出箇所 | 溶出量測定結果 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| ヒ素 | 大槌第２トンネル宮古市側<br>坑口から　９２．０m地点 | ０．００２mg/L（切羽左側） | （参考）土壌汚染対策法の基準値<br>０．０１ｍｇ／Ｌ |
| | | ０．０１９mg/L（切羽中央部） | |
| | | ０．０６１mg/L（切羽右側） | |
| | 大槌第２トンネル宮古市側<br>坑口から１３０．４m地点 | ０．００１mg/L未満（切羽左側） | |
| | | ０．００１mg/L（切羽中央部） | |
| | | ０．００３mg/L（切羽右側） | |

２．今後の対応

調査結果を受けて、今後、学識者等で構成する検討委員会を設置し、当該トンネルズリの運搬・処理方法等について検討を行い適切に対応してまいります。

【発表記者会】

岩手県政記者クラブ、釜石記者クラブ、宮古記者クラブ、大船渡記者クラブ、東北専門記者会


| 問　い　合　わ　せ　先 |
| --- |
| 国土交通省 南三陸国道事務所<br>〒 026-0301 釜石市鵜住居町第 7 地割 13-7　（代表）電話：０１９３-２８-４７３１<br>副　所　長　　山口（やまぐち）　満（みつる）　（内線２０４）<br>南三陸国道事務所のホームページ http://www.thr.mlit.go.jp/minamisanriku/index.html |

# 釜石山田道路　国道４５号　大槌（おおつち）地区トンネル工事

